

NEWSLETTER No.121
ISSN 1340-5578

TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ
The Society for Research in Asiatic Music

May 31, 2024

一般社団法人
東洋音楽学会

会報

第121号

発行 一般社団法人東洋音楽学会

事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: http://tog.a.la9.jp

目次

第75回大会のご案内	1	RILM(音楽文献目録)委員会からのお知らせ	6
第75回大会研究発表募集	2	東日本支部からのお知らせ	7
第41回田邊尚雄賞授賞発表	2	西日本支部からのお知らせ	8
第42回田邊尚雄賞アンケートのお願い	3	沖縄支部からのお知らせ	8
会員の受賞	3	前号記事の訂正とお詫び	8
第24回通常理事会議決事項のお知らせ	3	会員異動	9
支部制度の見直しについて	4	図書・資料等の受贈	9
情報委員会からのお知らせ	4	新刊書籍	10
選挙管理委員会からのお知らせ	5	新発売視聴覚資料	11
会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ	5	編集後記	11
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ	6	第24回通常理事会添付書類	12
ICTMD(国際伝統音楽舞踊学会)に関するお知らせ	6		

第75回大会のご案内

一般社団法人東洋音楽学会は、令和6年度の研究発表大会および公開講演会を以下の通り開催します。今回も対面で実施します。多くの会員のご参加をお待ちしております。

◇日時 2024年11月16日(土)、17日(日)

◇会場 東京学芸大学小金井キャンパス

(〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1)

◇大会テーマ 東洋・アジア音楽の復古と革新

◇日程

[第1日] 11月16日(土)

於: 芸術館(学芸の森ホール)

13:00 開会挨拶

13:10 公開講演会

「近代日本音楽の復古と革新 鈴木鼓村と宮城道雄」

・公開シンポジウム

趣旨説明及び進行 遠藤徹(東京学芸大学)

登壇者 和田一久(京極流三代宗家)

千葉優子(宮城道雄記念館)

コメンテーター スティーブン・G・ネルソン

(法政大学)

・実演

京極流箏曲 演奏: 和田一久

※京極流箏曲は鈴木鼓村が明治期に創始した独特の箏曲で、本学会の田邊尚雄初代会長が愛好したことで知られますが、現在は正統な継承者は和田一久氏ただ一人になっています。

16:30 第41回田邊尚雄賞授賞式

17:00 第13回定時社員総会

18:00 懇親会(場所は未定)

[第2日] 11月17日(日)

於: 中央2号館 南講義棟4F

9:00~17:00(予定) 研究発表(個人、共同、映像)

◇参加費等

参加費

正会員: 事前支払 3,000円、当日支払 3,500円

正会員のうち大学院生（修士課程・博士課程・研究生在籍者）・
学生会員：事前支払 1,500 円、当日支払 2,000 円
非会員（第2日のみ）：資料代 1,500 円

懇親会費

正会員：4,000 円（予定）
学生会員と正会員のうち大学院生：2,000 円
弁当代（第2日）：1,000 円（予定）

◇大会実行委員会

有澤知乃、遠藤徹（実行委員長）、大室満佐子、小林美季子、
島添貴美子、中川優子、配川美加、比嘉舞、森田敬子、
八桁由布樹

第75回大会の研究発表募集

東洋音楽学会第75回大会における研究発表を下記の要領
で募集します。会員の多彩な内容の発表を期待します。なお、
今大会は大会テーマ「東洋・アジア音楽の復古と革新」を設
けましたので、テーマに沿った内容は特に歓迎いたします。

◇発表形態

- A 個人発表：口頭発表（発表20分＋質疑応答10分）
- B 共同発表：共同セッション、パネルディスカッション等
（60分～90分、質疑応答を含む。）
- C 映像発表：40分以内の映像作品（著作権が発表者に属す
るもの、あるいは使用にあたって著作権者の許諾を得ている
もの。）

◇申し込み方法

以下の諸項目を明記した書面を、大会実行委員会まで電子
メールにてお申し込みください。電子メールの件名は「東洋
音楽学会75回大会発表申し込み」とし、添付するファイルは
ワード形式またはテキスト形式としてください。メールへの
テキスト貼り付けも可能です。電子メールを利用できない場
合のみ、郵送での申し込みを受け付けます。郵送の際は封筒
の表に「東洋音楽学会75回大会発表申し込み」と朱書きして
ください。

- (1) 題目（発表形態を付記してください。）
- (2) 要旨（AおよびCは800字程度、Bは1000字程度。）
- (3) 氏名（共同の場合は代表者氏名と構成員氏名。発表者に
非会員の方を含むことはできますが、代表者は会員に限ります。
また、非会員の発表者も正式な大会申し込みが必要です。）
- (4) 連絡先（電子メールアドレス、住所、電話番号）
- (5) 使用希望機材

- (6) その他、必要事項（Bの場合は希望する所要時間、Cの
場合は映像記録媒体など。）

送付先：東洋音楽学会第75回大会実行委員会

大会実行委員会メールアドレス：tog75taikai@gmail.com

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学
遠藤研究室気付 東洋音楽学会第75回大会実行委員会

申込締切：7月5日（金）必着（厳守）

※発表申し込みを受領してから2～3日以内に、その旨を電子
メールで通知いたします。発表申し込み後一週間を過ぎても
受領通知がない場合は、至急、上記の大会実行委員会までご
連絡ください。

◇採否

申し込み締切後、大会実行委員会で審査を行った上で決定
し、結果を電子メールで通知いたします。

◇備考

・本学会の大会発表では会報にレポートが掲載されます。そ
のため記録用の録音をとることをご了承ください。なお、会
報レポート以外の用途での録音や撮影は発表者本人の許可を
得てください。

・ご質問等は、大会実行委員会メールアドレス：
tog75taikai@gmail.com までご連絡ください。

第41回田邊尚雄賞授賞発表

第41回田邊尚雄賞は、下記のように決定いたしました。

【受賞者・授賞対象】

平間充子

『古代日本の儀礼と音楽・芸能一場の論理から奏楽の脈絡
を読む』（勉誠出版、2023年2月15日発行）

ISBN978-4-585-37006-2

【選考経過】

対象期間中に刊行された会員の業績12作のうち、授賞候
補としての要件を満たす8点を選考対象とし、回覧・精読を
行った。第一次選考（2024年2月24日）、第二次選考（3月
8日）を経て、3月9日にZoomで開催した第41回田邊尚雄
賞選考委員会において慎重に審議した結果、上記1件が授賞
にふさわしいとの結論に達した。

【授賞理由】

本書は、正史・日記・儀式書などの記録類に基づき、日本古代の儀礼において音楽・芸能の演奏がどのような政治的・社会的背景をもち、その時間と空間がどのような論理を持っていたのかを詳細に描き出している。丁寧で精緻な史料の検討をふまえつつ、音楽民族学的な視点も組み込まれている点で、日本古代史研究に新たな領野を開くものと言える。

特に 8 世紀以前から、奈良時代、平安時代にいたる時代的な変遷に対する考察を含むなど、広い視野で捉えていることが高く評価できる。そして、雅楽寮の演奏の場と、左右近衛府のそれとの違いについての指摘も興味深い。このほか、儀礼における異民族の芸能奉仕の意味が日中で異なるといった指摘は、東アジア的視野での研究に道を拓くだろう。

以上のように、本書は優れて学術的であると同時に、新しい古代音楽史像を展望する発展的な視点をもっており、田邊尚雄賞に相応しい好著である。

選考委員 金城厚(委員長)、千葉優子、野川美穂子、海野るみ、田中有紀

第 42 回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第 42 回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせ下さい。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

選考対象：2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日の発行物

受付期間：随時。締切は 2025 年 2 月上旬（予定）。

記入事項：著者名、書名、発行年月日、発行所名。

なお、論文の場合は、掲載誌名・巻次・編集者名・論文頁数も記して下さい。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

送付先：東洋音楽学会 第 42 回田邊尚雄賞選考委員会

（郵送）〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307 号

（Fax）03-3832-5152

（電子メール）LEN03210@nifty.com

※ご連絡の受け取り確認などは遅れる可能性もあります。

選考委員：（再任）海野るみ、田中有紀

（新任）奥中康人、高瀬澄子、濱崎友絵

会員の受賞

本学会会員の平間充子さんのご著書『古代日本の儀礼と音楽・芸能：場の論理から奏楽の脈絡を読む』（2023 年 2 月・勉誠社）が第 36 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞（クラシック研究評論・出版部門）を受賞されました。本書の授賞式は、4 月 16 日に開催されるミュージック・ペンクラブ・ジャパン音楽賞授賞式にて行われます。平間さんのご著書は本学会の田邊尚雄賞とのダブル受賞となりました。

第 24 回通常理事会議決事項のお知らせ

2024 年 4 月 7 日（日）に web 会議システム Zoom を用いて第 24 回通常理事会が開催されました。主な議決事項をお知らせいたします。

1）新入会員について

前回理事会（2023 年 10 月 8 日）以降に申し込みのあった正会員 8 名、学生会員 5 名の入会が正式に承認されました。

2）令和 6 年度研究発表大会および公開講演会について

本号の関連記事をご覧ください。

3）令和 6 年度事業計画について

【添付書類 1】の通り承認されました。

4）令和 6 年度収支予算について

【添付書類 2】の通り承認されました。

5）第 41 回田邊尚雄賞受賞者について

本号の関連記事をご覧ください。

6）第 42 回田邊尚雄賞選考委員について

海野るみ、田中有紀（以上、留任）、奥中康人、高瀬澄子、濱崎友絵（以上、新任）の 5 氏に委嘱することが承認されました。

7）令和 6 年度日本学術振興会育志賞の学会推薦について

推薦基準に沿う会員がいないため、今回は学会推薦は行わないこととしました。

8）参事の委嘱について

玉置彩乃氏への本部（広報）参事の委嘱、鈴木杜萌氏への沖縄支部参事の委嘱が承認されました。

9）次期理事定数および支部委員定数の件

令和 5 年度に実施する次期の役員選挙の理事の定数を 15 名とすることが承認されました。支部委員の定数については、現在支部制度の見直しを行っている関係で秋の理事会に持ち越すことになりました。支部制度の見直しについては、本号の関連記事をご覧ください。

支部制度の見直しについて

会報 120 号で、今期の理事会では前期の将来構想委員会の提言をうけて、現行の東日本支部、西日本支部、沖縄支部の三支部体制を改め、例会の企画立案を「例会委員会」（仮称）に一本化する案を検討していることを報告しました。今号ではもう少し具体的な改制案を示します。

- 1) 現行の制度に則って次期の支部委員を選出した上で、東日本支部、西日本支部、沖縄支部の三支部委員会を合併して合同支部委員会とし、これを次期の間に例会委員会（仮称）に移行する。
- 2) 例会委員会（仮称）に移行後は、現行の支部規程は廃止。
- 3) 例会委員会（仮称）の委員の数は状況に応じて随時増減できるよう、定数は定めない。但し、委員は地域のバランスを考えて選出。
- 4) オンライン例会は、例会委員会（仮称）全体で企画運営。
- 5) オンライン例会は、年 8 回程度、通算回数は旧定例研究会（第 449 回）を引き継ぐ。
- 6) 対面例会（ハイブリッド例会を含む）は、各旧支部の地域から選出された委員が企画運営し、支部例会の伝統を継承するとともに、希望する地域で新たに開催する。年間の回数は例会委員会（仮称）で随時に設定。
- 7) 対面例会（ハイブリッド例会を含む）は開催場所により、東京例会、関西例会、沖縄例会、〇〇例会（例、北海道例会など）等とし、通算回数は東京例会は東日本支部例会、関西例会は西日本支部例会、沖縄例会は沖縄支部例会の通算回数を引き継ぐ。新たに例会を開催する場所では、通算回数を新規に設定する。
- 8) 定款施行細則第 3 条 3 に「年 10 回以上の定例研究会」と定められているので、オンライン例会と対面例会（ハイブリッド例会を含む）の合計は 10 回以上にする。
- 9) 「支部だより」「支部通信」は「例会だより（仮称）」に統合。
- 10) 「例会だより（仮称）」はいずれは会報に統合することも視野に入れる。
- 11) 支部に関する定款施行細則を以下のように変更。

定款施行細則の変更案

【現行】

第 1 章 総則

第 1 条 この法人には次の支部を置き、原則として下記の範囲に在住する会員を各支部の会員とする。

1. 東日本支部

新潟、長野、静岡以東の各都道府県

2. 西日本支部

富山、岐阜、愛知以西で鹿児島以北の各府県

3. 沖縄支部

沖縄県

第 2 条 支部についてはこの法人の定款に準じた支部規程を定めるものとする。

2 支部規程は総会の議決を経て定める。

【変更案】

第 1 章 総則

第 1 条 この法人の運営は、定款に定めるもののほか、この施行細則による。

第 2 条 定款第 3 条によって設置した支部の細則は理事会の議決を経て別に定めるものとする。

この件につきましてご質問やご意見のある方は、学会事務局（LEN03210@nifty.com）までお知らせください。

情報委員会からのお知らせ

会員のみなさまの最新のメールアドレスの登録、および会報などのデジタル配信にご協力をいただき感謝いたします。すでに多くのメールアドレスに、会報などのデジタル版および研究集会などの学術情報を配信しておりますが、さらに多くの方からの「メルアド登録+郵送停止」を募っております。メーリングリストでの配信をご希望の方は、郵送を停止する旨、「東洋音楽学会会員名簿情報等登録フォーム」でご登録ください。この登録にかかわらず、大会案内を同封する 9 月の号は会員のみなさま全員へ郵送されます。



なお住所変更などの会員情報の変更も、この登録フォームから行えます。学会トップページより、「会員の皆様へ」とお進みの上ログインしてください。

上記フォームにアクセスするための ID とパスワードは、会報第 119 号（全会員へ郵送）3 頁に記載しています。また、ログインに関するお問い合わせは情報委員会（togictmt@gmail.com）へ、または学会事務局（LEN03210@nifty.com）までお送り下さい。

なお、郵送停止希望を出されているにもかかわらず本号が郵送された会員の方は、メール配信に問題が生じている可能性があります。情報委員会へお問い合わせください。

また会員相互の情報交換 ML についても、運用を検討中です。

選挙管理委員会からのお知らせ

本年は、理事及び監事の改選の年にあたります。以下の三点についてお知らせします。

◇被選挙権の停止・休止の変更について

昨年 11 月に開催された第 12 回定時社員総会で定款施行細則第 13 条第 3 項および第 4 項が変更され、役員（理事・監事）の被選挙権の停止および休止方法が変わりました。監事を通算して 2 期務めた正会員は監事の被選挙権が停止されます。また、役員を通算して 8 期以上務めた正会員が休止を希望できるのは、理事の被選挙権のみとなりました。

◇被選挙権の休止の希望について

定款施行細則第 13 条第 4 項に「定款に定めるところの役員を通算して 8 期以上務めた正会員は、選挙の度ごとに本人の希望によりその 1 期に限ってその理事の被選挙権を休止することができる。」とあります。また、同第 5 項に「選挙実施年の 9 月 1 日において、満 70 歳以上の者は、選挙の度ごとに本人の希望によりその 1 期に限ってその被選挙権を休止することができる」とあります。この条件に該当し、かつ休止を希望する正会員は、6 月 15 日（土）までに、下記の東洋音楽学会選挙管理委員会宛に、文書（電子メールを含む）にてお申し出ください。

〔東洋音楽学会選挙管理委員会〕

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学文教育学部音楽表現コース

教授 井上登喜子（東洋音楽学会選挙管理委員会）宛

E-mail: tog.election2024@gmail.com

◇選挙名簿の作成について

選挙管理委員会では選挙用会員名簿を作成します。名簿には「正会員の姓名」を記載することになっています。つきましては、『東洋音楽研究』第 88 号別冊として配布された名簿の記載事項に変更のある方で、まだ届けておられない方は、その変更内容を、6 月 15 日（土）までに学会事務局宛（LEN03210@nifty.com）、電子メールにて、ご連絡くださるようお願いいたします。ご連絡のない場合には、現在事務局にある名簿にしたがって記載することになります。

〔2024 年度選挙管理委員〕（五十音順）

井上登喜子（副委員長）、奥山けい子（委員長）、黒川真理恵、齊藤紀子、村山佳寿子

会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ

1. 会費納入のお願い

2023 年 9 月から新しい年度（2023 年度）が始まっています。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払込くださいますよう、お願い申し上げます。振込用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員：8000 円

学生会員（大学院生を除く）、および割引申請者：6000 円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723 [加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 [支店名] 〇一九（ゼロイチキュー）店 (019)
[当座] 0055723

○オンライン決済サービスによる納入

ペイパル（PayPal）によるオンライン決済でも会費が納入できます。学会ウェブサイトのトップページ（<http://tog.a.la9.jp/>）の「入会方法はこちら」をクリックし、「入会方法」のセクションをご覧くださいと納入ボタンがあります。オンライン決済にはペイパルへのログインが必要です。ペイパル・アカウントをお持ちでない方は、アカウントを開くと送金できます（アカウント開設費無料）。なお、オンライン決済には手数料が発生するため、納入金額は以下のようになります。

正会員：8350 円

学生会員（大学院生を除く）、および割引申請者：6280 円

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生（博士課程・修士課程）・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ（<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>）でご確認の上、お申し込み

みください。なお、大学院生の割引制度を受けるためには「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピーが、また研究生の割引制度を受けるためには、「研究生会費減額措置願い」と学生証のコピー、履歴書が必要です。次年度以降も継続して減額措置を希望する場合は、毎年、前年度末すなわち 8 月 31 日までに、「減額措置願い」を提出する必要があります。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利（研究会・大会での発表、学会の発行物の受取）が行使できないことがありますのでご注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第 90 号(2025 年 8 月刊行予定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の「投稿規定」および「投稿の手引き」(学会ホームページにも記載あり)をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」および「投稿の手引き」は機関誌編集委員会で改定を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください(学会ホームページで閲覧する場合、最新のものを取得するために、ページの再読み込みを必ずおこなってください)。

※第 90 号より、投稿原稿の送付方法が郵送からメールに変更となりました。

分量の限度の守られない投稿がしばしば見受けられます。各原稿の字数制限は本文、注、文献表、譜例、図表、写真などを含むものとなっておりますので、ご注意ください(字数を必ず明記してください)。

送付方法：メールに PDF と MS Word の文書を添付の上でお送りください。メールでの送付が難しい場合には、編集委員会または学会事務局へご相談ください。

送付先：東洋音楽学会事務局<LEN03210@nifty.com>と機関誌編集委員長宛ての 2 か所となる予定ですが、編集委員長のメールアドレスは次号の会報にてお知らせいたします。

締切：2024 年 11 月 29 日(金)必着 ※例年より締切が早くなっておりますのでご注意ください。

ICTMD (国際伝統音楽舞踊学会) に関するお知らせ

1) MEA(Musics of East Asia)シンポジウム

日時：2024 年 8 月 23 日～25 日

開催地：国立民族学博物館

現地大会実行委員（敬称略、五十音順）

小塩さとみ、マツ・ギラン、福岡正太、福岡まどか、劉麟玉、早稲田みな子

基調講演：黄裕元(Huang Yu-Yuan) (国立台湾歴史博物館)

発表者数：115 名（ポスター 10 名を含む）

シンポジウム Website は近日中に公開する

2) 2025 年の世界大会

日時：2025 年 1 月 9 日～15 日

開催地：Te Herenga Waka, Victoria University of Wellington, New Zealand

テーマ：

- 1) Indigenous People's Music and Dance
- 2) Environment, Place, Displacement, and Relocation
- 3) Translation, Inclusivity, Reception
- 4) Dance, Movement, Gesture, Embodiment
- 5) Technologies of Sound, Music, Movement, and Dance
- 6) Alternative Approaches and Methods to Research, Education, and Knowledge Dissemination

発表応募締め切り：2024 年 4 月 28 日

詳細：<https://easychair.org/cfp/ictmd2025>

RILM (音楽文献目録) 委員会からのお知らせ

◇『音楽文献目録オンライン』の状況

『音楽文献目録オンライン』では、既刊の『音楽文献目録』41 号（2014 年までの文献を掲載）以降の文献を Web で公開中です。47 巻以降、事務局に情報が届いた文献については、

2023年12月に選定された分の文献が公開されています。2024年3月迄に選定された文献も、近日中に公開される予定です。今後、41巻以前の遡及入力も進め、会員のみならずには過去の目録も含めて検索・閲覧できるようになります。

また『音楽文献目録オンライン』上の広告は2022年4月から開始し、現在1件掲載していますが、広告枠にはまだ余裕があり引き続き募集（5000円〜）しています。なお、冊子体による遡及入力のための基金を募集しており、今年度、当学会からも3万円の寄付をいただきました。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

◇東洋音楽学会会員の『音楽文献目録オンライン』へのアクセスについて

「音楽文献オンライン」にログインするためのIDとPWは、会員限定情報であるため、非会員が閲覧する可能性のある会報には、今後掲載しないことになりました。会員の皆様へは、会報9月号とともに別紙に記載して周知いたします。ログインに関するお問い合わせは情報委員会（togictmt@gmail.com）またはRILM委員会、もしくは学会事務局（LEN03210@nifty.com）までお送り下さい。

東日本支部からのお知らせ

1. 「東日本支部だより」郵送停止のお知らせ

「東日本支部だより」は、第63号（2023年11月発行）より、紙媒体の印刷・郵送を停止し、学会ウェブサイトから配信するのみとなりました。学会ウェブサイトより閲覧し、必要に応じてダウンロード、印刷を行なってください。最新号の発行は、学会メーリングリスト（ML）で告知し、URLを送信します。学会MLに参加していない方は、以下QRコード、あるいはURLから登録フォームにアクセスし、メールアドレスを登録してください。



URL: <https://qr.paps.jp/19Xb>

「東日本支部だより」の郵送継続を希望される場合は、支部事務局（tog.higashi@gmail.com）に直接ご連絡ください。上記フォームで「郵送継続を希望する」にチェックを入れた

場合も、必ず支部事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

2. 定例研究会のお知らせ

東日本支部では、2024年6月1日（土）に第140回定例研究会をオンライン会議システムのZoomを使用して開催いたします。参加は事前申込制です。東日本支部のウェブサイト（<http://tog.a.la9.jp/higashi/index.html>）より、5月29日（水）までにお申し込みください。申し込み締め切り後、例会前日までにミーティングコード等をお送りいたします。なお本例会は、当日に発表、質疑応答ともに行います。

※初めてZoom例会に参加される方へ：参加にはWebカメラとマイクのついたPC、またはタブレット、スマートフォンなどが必要となります。

第140回定例研究会（オンライン開催）

2024年6月1日（土）13:00（予定）～ 博士論文発表（予定）

※最新情報は、東日本支部のウェブサイトをご覧ください。

参加申込締切：2024年5月29日（水）

3. 定例研究会発表募集（12月例会）について

東日本支部では、2024年12月7日（土）の定例研究会（開催方式未定）における発表を募集しています。

発表をご希望の方は、発表種別（研究発表・報告等）、発表題目、要旨（800字以内）、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先（住所、電話、E-mail）を明記の上、2024年9月20日（金）までに、東日本支部事務局にメール（tog.higashi@gmail.com）でお申し込みください。

なお、発表希望をご提出後1週間経っても支部事務局から連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

4. 例会の参加申込について

例会の最新情報、及び「参加申込フォーム」は、支部のウェブサイトに掲載されます。ウェブサイトで情報をチェックし、早めにお申し込みください。

5. 「会員の声」投稿募集

東日本支部発行「東日本支部だより」には、会員の皆様から寄せられた情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局までお知らせください。投稿方法は、以下の通りです。

1) 次号締切：2024 年 6 月 5 日（6 月 20 日発行予定の「支部だより」に掲載します）

2) 原稿の送り先：東日本支部事務局 tog.higashi@gmail.com

3) 字数・書式：25 字 x 8 行以内（投稿者名明記のこと）

4) 内容：

①催し物、出版物などの情報

研究会、講演会、演奏会、CD、DVD、書籍出版、展示、見学会など

②学会への要望や質問

支部例会、大会、機関誌など、学会に対する感想や要望

＊原稿の採否は「支部だより」担当者に一任ください。編集の都合上、お送りいただいた原稿に多少手を加えさせていただきますことがありますので、ご了承ください。

西日本支部からのお知らせ

◇定例研究会について

2024 年 6 月 2 日（日）、7 月 13 日（土）に開催を予定しておりますが、内容は未定です。決まり次第、東洋音楽学会 HP の中の西日本支部のページにおいて発表いたします。今後の例会において発表を希望される方は、西日本支部事務局（支部長個人）あてにメールでお申し込みください。返信がない場合は、繰り返し督促してください。

◇支部だよりについて

支部だよりは、第 98 号から、HP での公開のみとしております。研究発表の傍聴記などに加えて、支部委員による学術エッセイも掲載しております。どうぞ一読ください。今度の刊行は 5 月末～6 月上旬を予定しています。刊行の告知については、東洋音楽学会 HP の冒頭ページにある「お知らせ information」をご確認ください。

西日本支部のページの QR コードは下のとおりです。



（西日本支部事務局）

〒600-8610 京都市下京区下之町 57-1

京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター 藤田隆則研究室 気付

電話／Fax. 075-334-2392

電子メール（藤田隆則） tfujita@kcua.ac.jp

沖縄支部からのお知らせ

沖縄支部では、第 82 回定例研究会 2024 年 7 月中旬頃、第 83 回定例研究会を 2025 年 2 月頃を予定しています。所属支部を問わず、研究発表の募集を行っています。応募は、出来るだけ事務局宛のメールでお願いいたします。郵送の場合、沖縄支部事務局まで締め切り日必着とします。

沖縄支部メールアドレス: Okinawashibu.toyo@gmail.com

沖縄支部事務局：〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4

沖縄県立芸術大学音楽学部 小西研究室 気付

応募締切日：2024 年 5 月 15 日（水）

注）5 月 15 日締切までの応募は、第 82 回例会（2024 年 7 月中旬頃）での発表予定ですが、応募状況によっては、第 83 回例会（2025 年 2 月頃予定）での発表となる可能性をお含みおきください。

新しい情報については、沖縄支部ウェブサイト <http://tog.a.la9.jp/okinawa/index.html> でご確認ください。

前号記事の訂正とお詫び

120 号 3 頁に掲載された大会報告記事の「芸姐（げいたん）の表演 —1935 年臺灣博覧会を中心に—（発表者：中原逸郎）」の報告の一部に誤りがありました。訂正して心よりお詫び申し上げます。

[120 号掲載分]

発表者は総括として、日本の芸妓と台湾の芸姐が芸や飲墨水制度の点で類似していたこと、台湾風花区は大正期から続くモダニズムの潮流のなかで様相を変え、伝統的芸姐は博覧会開催前に姿を変えていたことを指摘した。

[訂正]

発表者は総括として、日本の芸妓と台湾の芸姐が中心となる芸や飲墨水制度では異なるものの、その他の点で類似していたこと、台湾風花区は大正期から続くモダニズムの潮流のなかで様相を変え、伝統的芸姐は博覧会開催前に姿を変えていたことを指摘した。

会員異動

図書・資料等の受贈

（2023年12月～2024年4月、到着順）

『楽道』12,1,2,3,4月号 (公財)正派邦楽会

『美学論究』第三十九編 関西学院大学美学芸術学会

『東方學會報』No.125 (一財)東方学会

『日本カトリック教会の音楽—明治期から昭和初期まで・宣教師らの軌跡とともに』

時津ハインツ、大津磨由美共著、日本キリスト教団出版局

Chinese Music in Print: From the Great Stage to the Lady
Literata

Yang Yuanzheng, Fong Sing Ha and Colin Huehns,
Hong Kong University Press

『コンクール文化論—競技としての芸術・表現活動を問う』

宮入恭平、増野亜子、神保夏子、小塩さとみ 編著 青弓社

Unslient Strangers: Music, Minorities, Coexistence, Japan.

Hugh de Ferranti, Masaya Shishikura
and Michiyo Yoneno-Reyes

National University of Singapore Press

『近現代インドにおける音楽伝統と社会的レジリエンス—

ラージャスターン世襲楽師コミュニティの民族誌に向けて』

東アジア地域研究国立民族学博物館拠点(MINDAS)

ワーキングペーパーNo.5

田森雅一 東アジア地域研究国立民族学博物館拠点

『社会主義ベトナムのオペラ——国家をかたちづくる文化装置』

加納遥香 彩流社

『雅楽だより』第75・76合併号 雅楽協議会

『箏箏用ヨシの再生へ——上牧・鶴殿ヨシ原』

鈴木治夫 雅楽協議会

『音楽学』第69巻2号

日本音楽学会

『日本作曲年鑑2022』

「日本作曲年鑑」制作委員会 日本現代音楽協会

『阪大音楽学報』第20号 大阪大学音楽学研究室

『沖縄レコード音楽史——〈島うた〉の系譜学』

高橋美樹 ミネルヴァ書房

『伝統と創造：東京音楽大学附属民族音楽研究所研究紀要』

Vol.13

東京音楽大学附属民族音楽研究所

個人情報のため削除

新刊書籍

『ヴァイオリンを弾き始めた日本人：明治初年、演奏と楽器製作の幕開け』 梶野絵奈、青弓社、7,040 円
 『失われた院政期絵巻の研究』 茗名悠、思文閣、8,250 円
 『歌三線の民俗誌 沖縄文化の源流を求めて』 宮城鷹夫、文藝春秋、1,650 円
 『演劇年鑑 2024』 小学館、小学館、4,400 円
 『往生要集入門 悲しき者の救い』 石田瑞鷹、講談社学術文庫、1,210 円
 『沖縄・奄美の島々を彩る歌と踊り：民俗芸能の伝統と創造をめぐる旅』 久万田晋、ボーダーインク、2,640 円
 『沖縄レコード音楽史：〈島うた〉の系譜学』 高橋美樹、ミネルヴァ書房、6,050 円
 『音と脳——あなたの身体・思考・感情を動かす聴覚』 ニーナ・クラウド、紀伊國屋書店、2,970 円
 『「音」の秘密：原理と音楽・音響システム』 スティーヴ・マーシャル、創元社、1,320 円
 『音の本を読もう：音と芸術をめぐるブックガイド』 金子智太郎、ナカニシヤ出版、2,970 円
 『オンカク：音楽家、指導者、フリーランスのための確定申告・税金ガイド 2024 改訂版』 栗原邦夫、音楽之友社、1,540 円
 『音楽家の伝記 はじめに読む 1 冊 シベリウス』 ひのまどか、ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス、1,760 円
 『音楽家の伝記 はじめに読む 2 冊 ブラームス』 ひのまどか、ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス、1,760 円
 『音楽大学・高校 入試問題集 2024 国公立大・私大・短大・高校・大学院』 音楽之友社（編）、音楽之友社、7,700 円
 『音楽評論の一五〇年 福地桜痴から吉田秀和まで』 白石美雪、音楽之友社、3,850 円
 『音楽療法・音あそび 新装改訂版』 下川英子、音楽之友社、2,640 円
 『音楽理論と文法理論』 畠山雄二、開拓社、2,420 円
 『女かぶき図の研究』 館野まりみ、思文閣、7,700 円
 『音盤を通してみる声の近代：日本、上海、朝鮮、台湾』 劉麟玉・福岡正太・細川周平ほか、スタイルノート、3,300 円
 『学習フーガ』 池内友次郎、音楽之友社、3,630 円
 『歌舞伎音楽事始：音を聴く深く観る』 土田牧子、NHK 出版、2,970 円
 『唐物の神能における唐土：『東方朔』『西王母』『菊慈童』『鶴亀』をめぐる』

リム・ベンチュール、文学通信、770 円
 『貴族とは何か、武士とは何か』 倉本一宏、思文閣、11,000 円
 『義太夫年表 昭和篇 第七巻』 国立文楽劇場義太夫年表昭和篇刊行委員会（編）、和泉書院、20,900 円
 『近世の楽人集団と雅楽文化』 山田淳平、吉川弘文館、11,000 円
 『近代日本思想史大概』 飯田泰三、法政大学出版局、4,400 円
 『近代日本の身体統制：宝塚歌劇・東宝レビュー・ヌード』 垣沼絢子、人文書院、4,950 円
 『芸 秘伝伝授の世界』 西山松之助、講談社、1,210 円
 『古典の再生』 盛田帝子、文学通信、2,800 円
 『今昔物語集（一）』 今野達（校注）、岩波書店、9,680 円
 『芝居唄：歌舞伎黒御簾音楽歌詞集成』 郡司正勝（稿）・浅原恒男（編著）、文化資源社、49,500 円
 『宗教音楽の手引き（皆川達夫セレクション）』 皆川達夫、日本キリスト教団出版局、1,540 円
 『詳解『源氏物語』文物図典：有職故実で見る王朝の世界』 八條忠基、平凡社、5,280 円
 『「昭和ニューミュージック」の 1980 年代』 富澤一誠、言視舎、2,200 円
 『続日本紀（三）』 青木和夫ほか（校注）、岩波書店、12,100 円
 『植民地朝鮮の西洋音楽：在朝鮮日本人音楽家の活動をたどる』 金志善、青弓社、6,600 円
 『信仰と音楽は国境を越えて：オーストリアにおけるアレヴィーの儀礼実践と継承』 鈴木麻菜美、春風社、4,950 円
 『人生をより豊かにする音楽と医学：のど、脳、身体の機能から探る』 音楽の友（編）、音楽之友社、1,650 円
 『新版 三声—八声対位法』 池内友次郎、音楽之友社、3,300 円
 『新版 二声対位法』 池内友次郎、音楽之友社、2,970 円
 『撰関・院政期研究を読みなおす』 有富純也・佐藤雄基（編）、思文閣、5,060 円
 『戦後期渡米芸能人のメディア史：ナンシー梅木とその時代』 大場吾郎、人文書院、5,280 円
 『中国民族誌学：100 年の軌跡と展望』 河合洋尚、風響社、3,960 円
 『中世史料との邂逅：室町・戦国・織豊期の文書と記録』 村井祐樹、思文閣、11,000 円
 『中世和歌集 鎌倉篇』 樋口芳麻呂（校注）、岩波書店、8,580 円

『中世和歌集 室町篇』 伊藤敬(校注)、岩波書店、9,570 円
 『天王寺舞楽』 小野真龍、法蔵館、2,640 円
 『東寺執行日記 第二巻』 東寺文書研究会(編)、思文閣、15,400 円
 『20 世紀音楽を分析する』 パオロ・スサンニ、音楽之友社、4,180 円
 『日本音楽の構造』 中村明一、アルテスパブリッシング、3,850 円
 『日本の近代思想を読みなおす 3 美／藝術』 稲賀繁美、東京大学出版会、5,940 円
 『NEIRO よい「音色」とは何か』 横川理彦、ビー・エヌ・エヌ新社、2,750 円
 『能と狂言 21 号』 能楽学会(編)、ペリかん社、2,200 円
 『はじめての指揮法【新装・改訂版】』 斉田好男、音楽之友社、2,090 円
 『80 年代音楽ノート』 田家秀樹、ホーム社、1,870 円
 『八代集総索引』 久保田淳(監修)、岩波書店、8,580 円
 『バロック音楽と国際政治』 西原稔、アルテスパブリッシング、2,420 円
 『袋草紙』 藤岡忠美(校注)、岩波書店、9,680 円
 『文化権力と日本の近代；伝統と正統性、その創造と統制・隠滅』 徐禎完ほか、文学通信、3,080 円
 『宮城道雄著作全集 第 5 巻』 宮城道雄、講談社エディトリアル、10,560 円
 『室町物語集 (上)』 市古貞次ほか(校注)、岩波書店、8,250 円
 『室町物語集 (下)』 市古貞次ほか(校注)、岩波書店、7,810 円
 『有職故実便覧』 八條忠基、淡交社、3,300 円
 『六百番歌合』 久保田淳ほか(校注)、岩波書店、9,350 円

新発売視聴覚資料

『安藤政輝 宮城道雄を弾く 8 秋のしらべ』 安藤政輝、VZCG-847、3,300 円
 『壺』 喜友名朝樹、FCD-2007、2,500 円
 『寿づくし／南部茶屋福し』 須藤圭子、VZCG-10587、1,320 円
 『SUN 燦サンバ／いわき やっちき』 藤みち子ほか、VZCG-10586、1,320 円
 『尺八ロック／艶歌編』 村岡実、COKM-44697、＜配信限定＞
 『尺八ロック／マドロス編』 村岡実、COKM-44699、＜配信限定＞

『ムライキ／追分』 村岡実、COKM-44700、＜配信限定＞
 『尺八ロック／和製ポップス編』 村岡実、COKM-44698、＜配信限定＞
 『たのしい民謡 ベスト(一)』 小野田実ほか、COKM-44755、＜配信限定＞
 『たのしい民謡 ベスト(二)』 佃光堂、COKM-44756、＜配信限定＞
 『民唄 -TamiUta-』 中村滉己、COCQ-85612、3500 円
 『梅花黄蓮 2024 年度(第 60 回) 日本コロムビア全国吟詠コンクール課題吟』 今由香里ほか、COCJ-42190、3,000 円
 『舞踊小曲集 春の宵 唄つれづれに』 栄芝ほか、VZCG-851、1,980 円
 『みすじの糸～杵屋勝国の世界～』 杵屋勝国ほか、VZCG-8586 ～ 8588、6,600 円
 『源博雅の雅楽七秘曲』 左野龍子・長谷川景光、NARC-2189、2,200 円
 『民謡舞踊愛曲集 ～なつかしい九州の唄』 斎藤京子ほか、COCF-18162、1,650 円
 『和響 ～Encuentro～』 上妻宏光、宮田大、COKM-44857、＜配信限定＞

編集後記

121 号をお届けします。今号には、秋に行われる第 75 回大会の情報や、4 月 7 日に開催された第 24 回通常理事会のご報告がございます。また、今夏は 2 年に一度の理事・監事の改選が行われますので、「選挙管理委員会からのお知らせ」を掲載しました。どうぞご確認ください。

会報担当参事の西浦まどかさんは、今号で退任となります。西浦さんの長きにわたるご協力に感謝申し上げます。次号より、玉置彩乃さんに参事として加わっていただきます。

会報は、昨年度よりメール配信でお届けする形に移行しつつありますが、ひきつづき、会員の皆様に必要な情報を届けられますよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

土田牧子

編集委員会

理事：増野亜子、土田牧子

委員：山本華子

参事：井上環、今泉佳奈、神田花菜子、倉地真梨、西浦まどか、吉岡倫裕

第 24 回通常理事会添付書類

〔添付書類：1-1〕

令和 6 年度（2024 年度）事業計画

（自令和 6 年（2024 年）9 月 1 日 至令和 7 年（2025 年）8 月 31 日）

〔1〕研究発表会および学術講演会の開催（定款第 5 条 1）

(1)公開講演会の実施（定款施行細則第 3 条 1）

- ・日時 2024 年 11 月 16 日
- ・会場 東京学芸大学小金井キャンパス
- ・課題 「東洋・アジア音楽の復古と革新」

(2)研究発表大会の実施（定款施行細則第 3 条 2）

- ・日時 2024 年 11 月 17 日
- ・会場 東京学芸大学小金井キャンパス

(3)次年度大会の準備

- ・日時 2025 年 10 月または 11 月
- ・会場 沖縄県立芸術大学

(4)定例研究会（定款施行細則第 3 条 3）

○東日本支部

- ・回数 6 回（第 142 回～第 147 回 12・2・3・4・6・7 月）
- ・会場 オンライン開催ほか
- ・内容 研究発表、卒業論文・修士論文・博士論文発表ほか

○西日本支部

- ・回数 4 回（第 301 回～第 304 回 9・12・4・7 月）
- ・会場 オンライン開催ほか
- ・内容 研究発表、修士論文・博士論文発表ほか

○沖縄支部

- ・回数 2 回（第 83 回～第 84 回 2・6 月）
- ・会場 オンライン開催ほか
- ・内容 研究発表ほか

〔2〕学会誌および学術図書の刊行（定款第 5 条 2）

(5)機関誌『東洋音楽研究』の刊行（定款施行細則第 3 条 4）

○第 90 号の編集・刊行

- ・内容 会員の論文、研究ノート、資料、書評ほか

(6)会報の刊行

○『東洋音楽学会会報』

- ・第 122 号（2024 年 9 月）、第 123 号（2025 年 1 月）、第 124 号（2025 年 5 月）
- ・内容 会員への諸通知、理事会・総会記録、大会開催案内、大会レポート、
図書・視聴覚資料紹介、会員消息

○『東日本支部だより』

- ・第 66 号（2024 年 11 月）、第 67 号（2025 年 3 月）、第 68 号（2025 年 6 月）
- ・内容 東日本支部定例研究会の開催案内・報告、会員の声ほか

○『西日本支部だより』

- ・第 103 号（2024 年 9 月）、第 104 号（2025 年 1 月）、第 105 号（2025 年 5 月）
- ・内容 西日本支部定例研究会の開催案内・報告、支部会員への諸通知ほか

○『沖縄支部通信』（Web のみで公開）

- ・第51号（2025年3月）、第52号（2025年7月）
- ・内容 沖縄支部定例研究会の開催案内・報告、支部会員への諸通知ほか
- 〔3〕関連学協会との連絡および協力（定款第5条3）
- (7)日本学術会議への協力
 - 日本学術会議協力学術研究団体として協力
- (8)音楽文献目録委員会への参加
 - 会員三名を委員として派遣
- (9)ICTMD(国際伝統音楽舞踊学会)への協力
 - 日本国内委員会として加盟
- (10)東洋学・アジア研究連絡協議会への参加
 - 会員一名を委員として派遣
 - 〔4〕研究の奨励および研究業績の表彰（定款第5条4）
- (11)「田邊尚雄賞」（定款施行細則第3条5）
 - 第41回田邊尚雄賞の授賞
 - ・日時 2024年11月17日
 - ・受賞者および授賞対象
 - 平間充子『古代日本の儀礼と音楽・芸能一場の論理から奏楽の脈絡を読む』
 - 2023年2月15日発行、東京：勉誠出版 ISBN978-4-585-37006-2
 - 第42回田邊尚雄賞の選考と発表
 - 〔5〕研究および調査（定款第5条5）
- (12)国内または国外における学術調査および研究
 - とくになし
 - 〔6〕その他目的を達成するために必要な事項（定款第5条6）
- (13)東洋音楽学会ホームページを通して行なう学会情報の提供
- (14)独立行政法人科学技術振興機構（JST）電子アーカイブ事業への参加
- (15)「人間文化研究機構国立民族学博物館との連携に関する協定」の遂行

〔添付書類：1-2〕

一般社団法人東洋音楽学会

収 支 予 算 書

令和 6 年 9 月 1 日 から 令和 7 年 8 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	500	500	0	
基本財産利息収入	500	500	0	
特定資産運用収入	100	100	0	
特定資産利息収入	100	100	0	
入会金収入	0	0	0	
会費収入	3,870,000	3,870,000	0	
正会員会費収入	3,600,000	3,600,000	0	
賛助会員会費収入	150,000	150,000	0	
特別会員会費収入	120,000	120,000	0	
事業収入	1,262,000	1,164,000	98,000	
機関誌発行収入	350,000	350,000	0	
大会広告料収入	365,000	365,000	0	
大会参加費収入	377,000	324,000	53,000	
懇親会費収入	120,000	75,000	45,000	
食料費収入	50,000	50,000	0	
その他事業収入	0	0	0	
補助金等収入	0	0	0	
負担金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	5,132,600	5,034,600	98,000	
2. 事業活動支出				
事業費支出	6,569,000	6,516,000	53,000	
給料手当支出	1,200,000	1,200,000	0	
臨時雇賃金支出	340,000	250,000	90,000	
法定福利厚生費支出	5,000	5,000	0	
旅費交通費支出	277,000	317,000	△ 40,000	
通信運搬費支出	647,000	847,000	△ 200,000	
消耗什器備品費支出	0	0	0	
消耗品費支出	52,000	52,000	0	
賃借料支出	820,000	820,000	0	
印刷製本費支出	599,000	649,000	△ 50,000	
諸謝金支出	300,000	300,000	0	
租税公課支出	10,000	10,000	0	
負担金支出	202,000	172,000	30,000	
会議費支出	51,000	51,000	0	
広報普及費支出	430,000	400,000	30,000	
田邊尚雄賞関連費支出	130,000	150,000	△ 20,000	
会場運営費支出	150,000	144,000	6,000	
機関誌作成費支出	800,000	800,000	0	
例会運営費支出	305,000	145,000	160,000	
懇親会費支出	120,000	75,000	45,000	
保険料支出	0	0	0	
事務委託費支出	0	0	0	
食料費支出（雑支出①）	60,000	60,000	0	
慶弔費支出（雑支出②）	20,000	20,000	0	
手数料支出（雑支出③）	26,000	31,000	△ 5,000	
雑支出（雑支出④）	25,000	18,000	7,000	
管理費支出	530,000	550,000	△ 20,000	
事務委託費支出	530,000	550,000	△ 20,000	
事業活動支出計	7,099,000	7,066,000	33,000	

一般社団法人東洋音楽学会

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
法人税等の支払額	0	0	0	
事業活動収支差額	△ 1,966,400	△ 2,031,400	65,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
基本財産取崩収入	0	0	0	
特定基金取崩収入	1,967,000	2,040,000	△ 73,000	
田邊尚雄賞基金取崩収入	130,000	150,000	△ 20,000	
研究推進事業基金取崩収入	1,837,000	1,890,000	△ 53,000	
固定資産売却収入	0	0	0	
投資有価証券売却収入	0	0	0	
敷金・保証金戻収入	0	0	0	
投資活動収入計	1,967,000	2,040,000	△ 73,000	
2. 投資活動支出				
基本財産取得支出	0	0	0	
特定資産取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
投資有価証券取得支出	0	0	0	
敷金・保証金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	1,967,000	2,040,000	△ 73,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
基金受入収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
基金返還支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
予備費支出	△ 600	△ 8,600	8,000	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	



この1枚で世界一周！ 音楽鑑賞 Blu-ray Disc

鑑賞教材 初の Blu-ray

迫力ある演奏のみならず、各国の風景、
美しい民族衣装などの文化にも触れることができます！
全ての映像について、研究者によるライナーノーツ付き！

- 世界の民族音楽を知るうえで貴重な映像資料を、
DVD を遥かに凌ぐ高解像度の Blu-ray で鑑賞できます。
- 最新技術のマスタリングによって
立体感あるサウンドが楽しめます。
- 49カ国、86曲を収録

品番：NXS-1 Blu-ray ディスク1枚
収録時間 202分
定価19,800円(本体18,000円+税10%)
制作：ビクターエンタテインメント株式会社



K 教育芸術社

〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-14
TEL. 03-3957-1177 (販売部直通) FAX. 03-3957-9223 (受注専用)
<https://www.kyogei.co.jp/>



定価2,860円
B5・160頁
ISBN978-4-276-32178-6

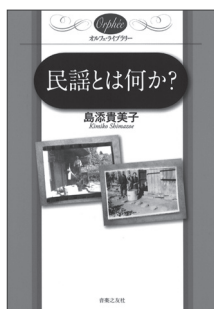
〈音楽指導ブック〉

アクティブに楽しく 学ぶ世界の音楽

組み合わせで使える
教材ユニット集

田中多佳子 編著／
大田美郁、加藤富美子、
権藤敦子、本多佐保美 著

授業で「すぐに」扱えるヒントが
満載！ 既存の授業に取り込む
ことのできる「ユニット」が特徴。



定価2,750円
四六・224頁
ISBN978-4-276-37114-9

〈オルフェ・ライブラリー〉

民謡とは何か？

島添貴美子 著

田んぼで田植歌を聴いたとい
う話が過去のものとなった21
世紀の日本において、「民謡」
とはいったい何か？

小島美子・藤井知昭記念
日本民俗音楽学会賞受賞



定価2,750円
四六・232頁
ISBN978-4-276-37109-5

〈オルフェ・ライブラリー〉

声の世界を旅する

増野亜子 著

世界のさまざまな地域で暮らす人々
の声の文化を分析・考察する。ホー
ミーから初音ミクまで、多様で変化
に富んだ声のかたちの向こうに見
えてくるものとは？

貴重な写真や譜例を多数収録。

〈オルフェ・ライブラリー〉

新版 雅楽入門

増本伎共子 著

定価2,640円／四六・264頁 ISBN978-4-276-37104-0

日本音楽基本用語辞典

音楽之友社 編

定価1,980円／A5・192頁 ISBN978-4-276-00182-4

唱歌で学ぶ日本音楽 (DVD付き)

日本音楽の教育と研究をつなぐ会 編著／徳丸吉彦 監修

定価3,630円／B5・128頁+DVD2枚 ISBN978-4-276-32170-0

よくわかる日本音楽基礎講座～雅楽から民謡まで

増補・改訂版 福井昭史 著

定価2,640円／B5・160頁 ISBN978-4-276-32168-7

株式会社 音楽之友社

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30
<https://www.ongakunotomo.co.jp/>

TEL: 03-3235-2151
FAX: 03-3235-2148

※定価（本体価格＋税10%）

※重版により、定価が変わる場合がございます。予め、ご了承ください。

主要音楽配信サービス（ストリーミング・ダウンロード）にて好評配信中

正調郡上おどり

郡上踊保存会

かわさき/春駒/猫の子
やっちく/三百/古調かわさき
げんげんばらばら/まつさか

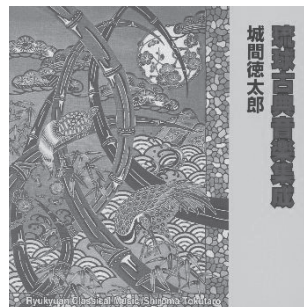


醍醐寺の声明

真言宗醍醐派総本山

醍醐寺翫山青年連合会

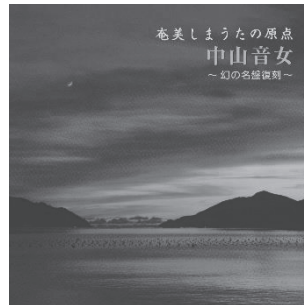
仁王会前行法要（四智梵語/大
日讃/不動讃/廻向/発願他）
恵印法要（前讃/理智不二界會
礼讃/九条錫杖/般若心経他）



琉球古典音楽集成

唄・三線：城間徳太郎

かぎやで風節/恩納節/長伊平
屋節/中城はんだ前節/特牛節/
揚作田節/東里節/赤田花風節/
黒島節/そんばれ節/夜雨節/浮
島節/本田名節他



奄美しまうたの原点

中山音女

～幻の名盤復刻～

やちや坊節/でんなご節/塩道
長浜節/しゅんかね節/側屋戸
湯湾節/仙本節/飯米取り節/
嘉徳なべ加那節/太陽ぬ落て
いまぐれ節他



じゃぽオンラインストア

— 伝統を未来に —

<https://japo.murket.jp>

当財団では日本の伝統音楽・伝統芸能ジャンルに特化したオンライン
専門店〈じゃぽオンラインストア〉を開設。多様な音楽種目を有する伝
統邦楽と列島各地の民俗芸能を幅広くダウンロード販売中。

公益財団法人 日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

